

## 平成30年度 福井県立藤島高等学校 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。  
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切かどうか。  
・その他

(意見をお聞きした方) PTA会長(1名), 副会長(3名), その他のPTA役員(10名)

### ○全般的評価について

- ・いつも熱心に向き合ってもらい、適切で良好な学校運営が行われていると評価できる。
- ・アンケート実施により教員・生徒・保護者の学校に対する気持ちや意識をくみ取ってもらえるのはありがたい。
- ・少数ながらすべてのアンケートにおいて、生徒・保護者に否定的な意見もある。その理由について、具体的に記入してもらうことにより、より良い改善策・向上策に結びつくのではないかと。
- ・生徒と教員のアンケート結果に若干のズレを感じる部分があるが、その点においても、改善策・向上策でも触れられており、適切である。

### ○学習指導について

- ・目標値が適切で、指数もレベル以上で良好。
- ・生徒・教員の「学習意識」が高く、満足度と使命感も高い。
- ・教員アンケートに対して、生徒・保護者のアンケート結果がシビアである。授業内容に満足していない生徒のフォローが大切。
- ・授業内容の満足度の1年生指数が他の学年より若干低いという課題において入学後の早期対策が必要だと感じる。

### ○生徒指導について

- ・アンケートでは肯定的な回答が多く、いずれも目標値を大きく超えており、良好に行われていると感じる。

### ○進路指導について

- ・高い水準での成果が得られており、良好に行われていると感じる。
- ・生徒の潜在能力や可能性を十分に配慮された指導であると感じる。
- ・1・2年生のうちから志望理由書を書く指導を行うことは、大変有意義で高く評価できる。
- ・1年生よりも2年生の指数が低い点が気になる。来年度の成果に期待。

### ○環境美化について

- ・生徒が頑張る清掃活動・気持ちよい挨拶など、いつも感心する。

### ○学校と保護者の関係について

- ・PTAとして学校に伺い、また保護者として面談等をさせていただき、また様々な保護者のお話をお聞きする中で、「歴史と伝統」「校風」に優れ、そこに学ぶ生徒たちも凜としている。今後とも、さらに高みを目指して頑張ってもらいたい。
- ・教員の熱心な準備・指導や生徒の自主性を重んじる教育が評価として表れているのではないかと。

### <「学校関係者評価」を踏まえた今後について>

- ・さらに「高みを目指す」「前進する」という目標・対策は、理念に基づいた方針で、今後ともその時代にそった改善策・向上策が必要である。
- ・改善策・向上策においても課題を改善するための策が適切に挙げられているが、その取り組みを生徒や保護者に周知し、生徒・保護者・教員がしっかりと共有することが改善に繋がる。
- ・昨年度のアンケート結果を提示した方が、今年度の成果に結びついたのかを評価するのに役立つと思う。
- ・毎年でなくてもよいから、マンネリ化を防ぐためにも、課題の見直しを検討した方がよい。選択肢も「どちらともいえない」の項目があっても良いのでは。
- ・否定的な改善策に対しても、さらに検討してほしい。選んだ理由を知るためにも、簡単でよいから理由を明記するスペースがあれば、今後の改善策にも繋がると考えられる。
- ・どんなことでもよいので自由に書くことができるスペースがあるとよい。